

自然豊かな地域で育む下宇坂っ子

福井市下宇坂小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	15回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	34人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	72人
登下校支援ボランティア	1300人

(3) 特色ある活動

テーマ「豊かな自然を生かした『山の子プロジェクト』」

① 豊かな自然を生かした生かした体験活動

身近な森を知り、地域への愛着をもつというねらいで森づくり体験活動を行った。4年生から6年生は森林インストラクターから自然の力と素晴らしさについての話を聞いた後、学校林に出かけ、地域の森林組合の方による枝打ちの様子を見学した。その後、年輪を調べたり、学校林にある木々や下草の様子を観察した。幼、1、2年生は森を守る活動を進めている方から、「森のお話」を聞き、自然や森の動物、木の実への興味関心を持つことができた。その後、どんぐり苗木の植樹、木づちを使ってしいたけ菌のコマ打ちを行った。



【しいたけ菌のコマ打ち】

親子活動として、高学年は、学校敷地内のどんぐり林にどんぐりの木を植樹した。低学年は、学校花壇に親子で花苗植えを行った。また、地区を流れる足羽川では足羽川漁協の協力、稚鮎の放流体験を行った。

校舎裏にある水田では、5年生が、昔ながらの農法でもち米を作った。祖父母や地域の農業関係者の指導や手伝いにより、田植え、稲刈り、脱穀、はさ掛けをすべて手作業で行った。収穫した米は、収穫感謝

において、洗う・蒸す・こづきなど地域の方々や保護者の協力のもと、杵での餅つきを体験し、自然やお世話になった多くの方々に感謝しながら、親子で出来たての餅を食した。

② ふるさとの宝の発見・発信

地域の施設、歴史、言い伝えなどについて、地域に出かけ、実際に見たり、話を聞いたりして調べることを通して、ふるさとの良さを多く見つけることができた。収穫感謝祭では、各学年が、保護者や地域の人たちに、自分たちの住む美山地区のすばらしい「宝」について思いを伝えることができた。



【収穫感謝祭での発表】

成果と課題

- 地域の方々から話を聞いたり、教えていただいたりする機会を多く設けたことで、自分たちの住む地域の豊かな自然や受け継がれてる文化、歴史に関心を持ち、地域に対する愛着が深まった。
- 校内外を問わず、様々な活動へ地域の方々や保護者からの参加協力により、活動の取り組みが意欲的に進められると共に、地域の方々との交流を楽しむことができた。
- 今年度植樹を行ったどんぐり林の整備と共に、学校林を生かした取り組みを工夫したい。